

行政事業レビュー～事業仕分けの内生化・定常化～について

1 行政事業レビューとは

- 行政事業レビュー（以下「レビュー」という。）は、各府省において、事業の実態を十分に把握し、外部の有識者を交えた公開プロセスも含め自ら事業を点検し、その結果を今後の事業執行や予算要求等に反映する取組。
- レビューは、平成21年度に実施した事業（事務的経費、人件費等は除く。）を対象に、その実績に基づいて実施。

- ・ 各府省は、「予算監視・効率化チーム」を中心に、レビューに取り組む体制を既に構築済み。副大臣がチームリーダーとなり、府省内の各部局や地方支分部局等にまでレビューが浸透する体制としている。
- ・ 各府省チームは、事業ごとに最終的に、1) 予算がどこに渡り（支出先）、2) 何に使われているか（使途）といった実態に関して、現場の確認等も含め、十分な把握に努める。

2 レビューの狙い

- 各府省が事業の実態（支出先や使途）を十分に把握し、これを踏まえて、事業目的に即した予算の企画・立案、要求、執行に努めることは、行政を政策効果の高いものへと刷新するために不可欠。
- 「事業仕分け」の手法を各府省の検討プロセスに取り入れ、概算要求前の時点から、事業の実態を国民に明らかにしつつ検証を行い、改善につなげる。

- ・ 昨年秋の「事業仕分け」では、各府省が事業の実態を必ずしも十分に把握しておらず、税金投入の効率性や効果の面からの検証も十分とは言えない実態が明らかになった。
- ・ また、予算査定の段階で削減努力を行ったとしても、その前の予算要求の段階から十分な検討・見直しが行われていない場合には、限界があるとの意見もあった（第5回行政刷新会議）。

3 レビューシートで把握した実態を公開

- 各府省は、全ての事業についてレビューシートを作成する。レビューシートには事業の概要、予算等のほか、資金の流れ（予算が最終的にどこに渡っているか）、費目・使途（何に使われているのか）、さらには自己点検の結果等を書き込む。
- 各府省がレビューシートを公表することで、政府の行う事業の概要、執行の実態等が国民に対して明らかにされる。

- ・ 各府省チームは、事業の実態を踏まえ、それが本来の事業目的と合致しているか、真に効率的・効果的な支出となっているかなど、昨年の事業仕分けの視点などを参考にしながら、自己点検する。
- ・ 検討結果を翌年度の予算要求に着実に反映させることで、政策のPDCAサイクルにおけるアクション機能を強化。
- ・ 事業の実態の開示とともに、要求段階から予算編成過程を国民に開示することにより、
 - ① 国民による予算内容の理解や吟味が容易となり、
 - ② 国民視点に立った業務の執行と予算の策定が徹底されるよう、行政の規律を高め、
 - ③ ひいては政治に対する国民の信頼を高めることが期待される。

4 公開プロセスの実施

○ 公開プロセスは、レビュー対象事業の一部について、レビューの内容を、公開の場で、外部有識者等を交えて検証するもの。その際、事業仕分けの基本原則に従って取り組み、外部有識者の概ね半数を行政刷新会議が指名。

- ・ 以下の点などについて、一般納税者の視点で検証を行う外部の有識者を交えた公開チェックのプロセスを実施。
 - イ 事業の支出先及び用途についての各府省の把握水準が、事業目的の実現や効果の発揮の観点から検証を行うために十分な水準となっているか。
 - ロ 上記について把握できていないものについて、把握できていない理由は妥当か。
 - ハ 上記の支出先や用途を見た上で、事業について見直しの余地がないか。
- ・ 公開プロセスの対象にならなかった事業についても、レビューシートを公表した上で国民から意見を募集するなどして、国民の視点を踏まえた点検を行う。

5 まとめ

○ レビューの一連の作業は、事業仕分けの内生化・定常化であり、予算編成のプロセスを変える画期的なもの。

○ レビューの結果は、平成23年度予算の概算要求や執行に反映。更に、組織や制度の不断の見直しにも活用。

- ・ この取組を毎年行っていくことで、国民の視点を踏まえて、各府省に、自ら進んで事業の点検・改善を行っていくという意識が徹底し、自律的な政策見直しのプロセスが定着していく。
- (・ 本年は試行とし、来年からの本格的な実施を目指す。)

○ 今後の予定

[5月]18日 第9回行政刷新会議

- ・各府省の行政事業レビューの進捗状況、公開プロセスの対象事業について報告
- ・各府省の公開プロセスに行政刷新会議の指名により参加する外部有識者の決定

26日 公開プロセスの開始（～6月中旬まで）

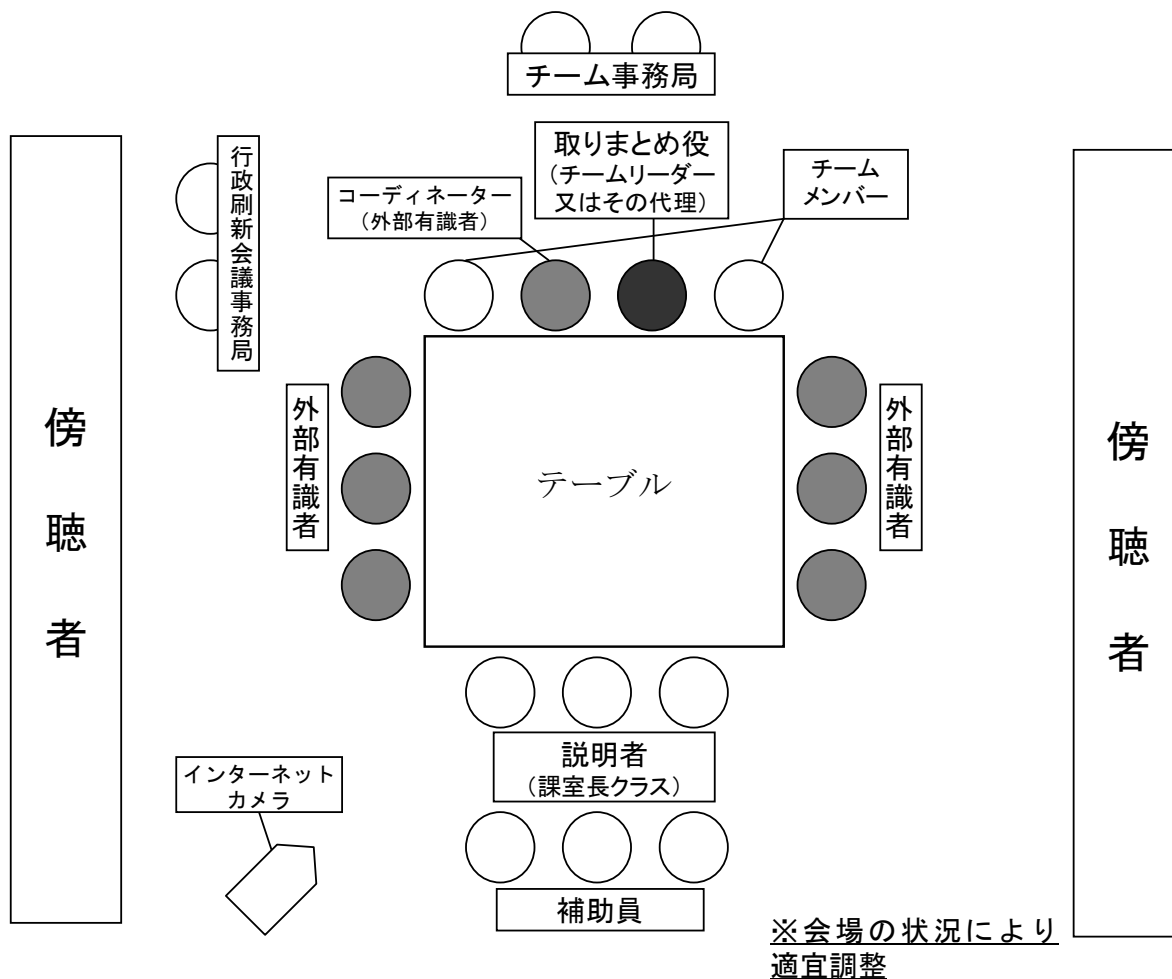
[6月]中旬頃 各府省において公開プロセスに係る事業のレビュー結果の中間取りまとめ、公表

下旬 その他の事業のレビューシートの公表、国民からの意見募集

[7月] 概算要求への反映作業（～8月）

[8月末] 概算要求、レビューシート最終版の公表

公開プロセスの進め方 (イメージ)



1. 事業の概要、支出先・使途の把握状況等の説明

2. 支出先・使途等を踏まえた質疑・議論

- ・ 質疑・議論の時間は、事業規模や議論重視の観点から各府省で弾力的に考える。

3. 「コメントシート」の記入と結果の公表

- ・ コメントシートに記入するのは、外部有識者のみ。
- ・ 事業の支出先・使途の把握水準を見た上で、事業について見直し（「一部改善」、「抜本的改善」、「廃止」等）の余地がないかについて記入。

4. 取りまとめ

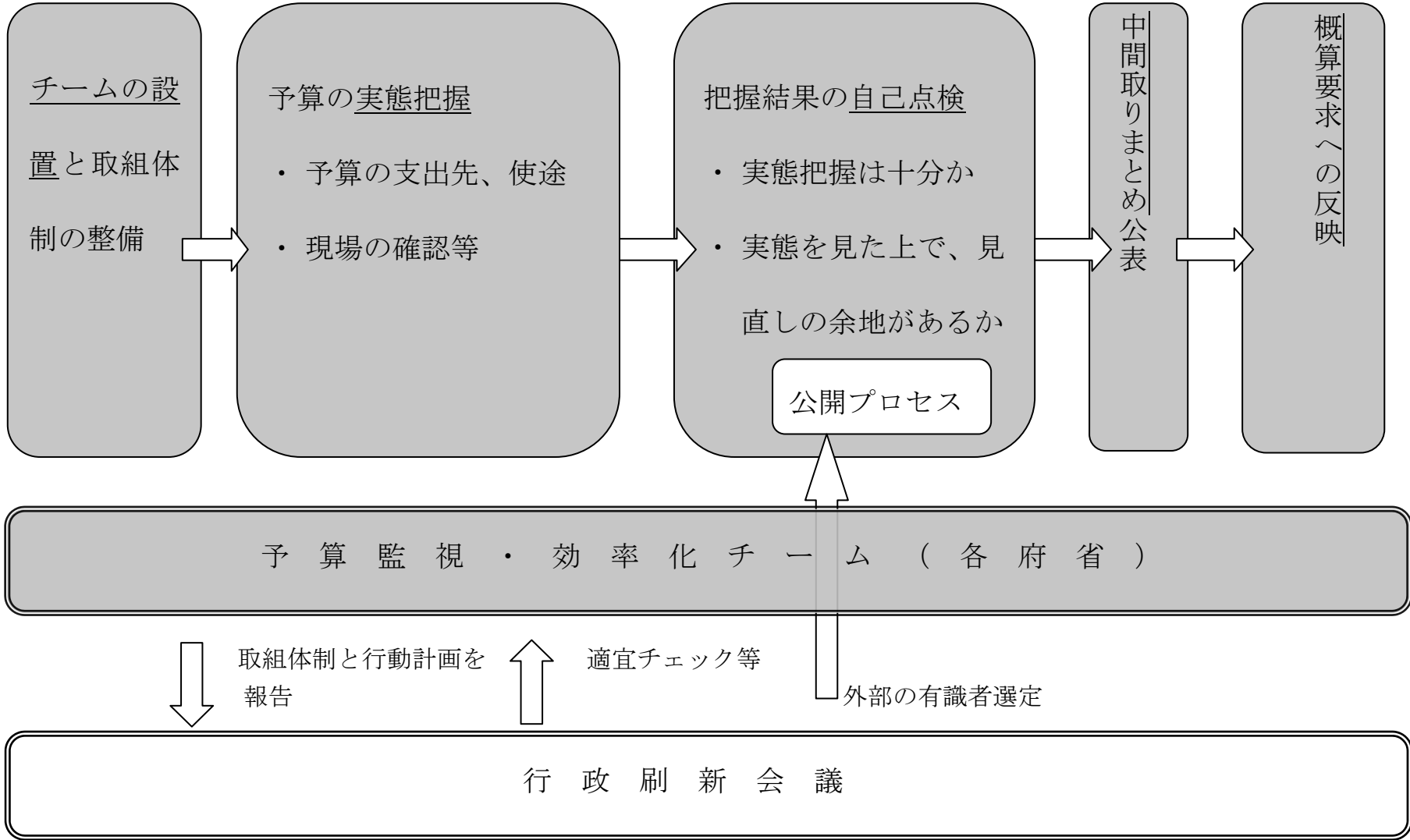
5. 各コマ終了後（結論の会場貼り出し）

- ・ 結論の速報と個別事業貼り出し紙の作成

(備考)

- ・ 質疑・議論に入る前に主な論点を説明するなど、議論を円滑にする観点からの進め方の工夫は適宜行う。

行政事業レビューのイメージ（案）



(参考4)

事業番号

行政事業レビューシート (省)						
予算事業名		事業開始年度		作成責任者		
担当部局庁		担当課室				
会計区分		上位政策				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		関係する計 画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)						
実施状況						
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)					
	執行額					
	執行率					
	総事業費(執行ベース)					
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況					
	見直しの 余地					
予算 チーム の 所 見 率 化						
補 記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

公開プロセス日程表

参考5

府省名	場所	5/26	27	28	29	30	31	6/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		水 午後	木 午後	金 午後	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
経済産業省	経済産業省別館9階 各省庁共用944号会議室	○ 午後	○ 午後	○ 午後																		
厚生労働省	中央合同庁舎5号館低層棟2階 厚生労働省講堂						○ 午後							○ 午後			○ 午後					
農林水産省	農林水産省7階講堂						○ 調整中	○	○													
財務省	中央合同庁舎4号館 共用会議室(220会議室)							○														
法務省	法務省1階集団処遇室									○ 午後												
文部科学省	中央合同庁舎7号館東館3階 文部科学省講堂									○	○											
総務省	中央合同庁舎2号館地下2階 総務省講堂									○	○											
内閣府	内閣府本府地下講堂									○ 午前	○ 午前											
国土交通省	気象庁講堂									○ 午後	○ 午後			○ 午後	○ 午後							
環境省	中央合同庁舎5号館22階 環境省第1会議室															○						
防衛省	防衛省A棟2階講堂															○ 午後	○ 午後	○ 午後				
外務省	外務省新庁舎7階講堂																				○	○

(注)一般傍聴にあたっては、事前登録が必要な省庁もございます。各省庁の傍聴手続をご確認の上、ご来場下さい。